

名古屋大学医学部附属病院
「がんゲノム医療中核拠点病院」指定記念講演会

定員 300名

7/20(金) 締切

入場無料・要事前申込

ゲノム医療がもたらす がん治療の未来

名古屋大学医学部附属病院では、平成30年2月16日付けで厚生労働大臣よりがんゲノム医療中核拠点病院に指定されました。「がんゲノム医療」とは、がんの原因となる遺伝子変化を調べ、それに合った薬を選ぶ治療法で、将来的に今の臓器別治療より効果的な治療法になると期待されています。中核拠点病院の本院では、地域の中心として、遺伝子検査や適切な治療法の検討、さらに研究や新薬開発、人材育成を担います。そこで、日本のがん医療の未来を祈念し、地域の中核病院として本院の果たす役割を広く地域のみなさまにお知らせしたく講演会を行います。

今回の記念講演会では、直江知樹 国立病院機構名古屋医療センター院長をお迎えし、本院の「ゲノム医療」に携わる医師と一緒に、がん治療の未来について考えていきます。

平成30年7月31日(火)

開場 13:15 開演 14:15 閉演 16:15

場所 名古屋大学医学部附属病院
中央診療棟A 3階講堂

プログラム	14:15	開演
	14:15~14:20	石黒病院長ごあいさつ
	14:20~15:00	基調講演
	15:00~15:10	休憩
	15:10~16:10	パネルディスカッション
	16:10~16:15	閉会のごあいさつ
	16:15	閉演



司会 若月 弘一郎

フリーアナウンサー
(元 NHK アナウンサー)

平成14年名古屋大学情報文化学部卒

基調講演

「ゲノム・臨床の情報が切り開く新しい医療」



直江 知樹

名古屋医療センター院長

パネルディスカッション

「先進医療「がんゲノム医療」の課題と展望」



石黒 直樹

名古屋大学医学部附属病院長



安藤 雄一

名古屋大学医学部附属病院
化学療法部 教授



尾崎 紀夫

名古屋大学医学部附属病院
精神科 教授

主催/名古屋大学医学部附属病院 名古屋大学医師会 後援/愛知県 名古屋市 愛知県医師会 名古屋市医師会 朝日新聞社

お問い合わせ先: 名古屋大学医学部総務課総務係 記念講演会担当 tel/052-744-2228 E-mail/iga-sous@adm.nagoya-u.ac.jp